

議員なり手不足に関するアンケート 結果報告書

市貝町議会

1. はじめに

このたびは、「市貝町議会 議員のなり手不足に関するアンケート」にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

皆さまからいただいた貴重なご意見を議員一同、真摯に受け止め、今後の議会運営や議員のなり手不足対策を検討する上で大切な資料として活用させていただきます。

今後とも、市貝町議会へのご理解とご協力を、何卒よろしくお願いいたします。

2. 調査の方法

- ・ 調査地域 市貝町全域
- ・ 調査方法 市貝町に居住する（18歳以上）2,000人の方（無作為抽出）
- ・ 調査期間 令和8年5月12日～5月31日
- ・ 回答数 587件（回答率 29.4%）

3. アンケート結果

回答者の内訳

（人）

	10-20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	合計
1. 男性	32	23	32	49	62	72	1	271
2. 女性	26	36	43	57	73	58	1	294
3. 回答したくない	2	3	6	3	2	0	1	17
無回答	0	0	0	0	0	0	5	10
合計	60	62	81	109	137	130	8	587

●回答率は 29.4% となり、男性・女性の割合もほぼ同数となりました。

●回答者は 60 代以上が約 46% を占めていますが、40 代以下も約 35% となっており、比較的幅広い世代の意見が寄せられました。

問 5

あなたは、市貝町議会に関心がありますか？

議会への関心	件 数	割 合
どちらともいえない	186	31.7%
どちらかといえば関心がある	144	24.5%
どちらかといえば関心がない	106	18.1%
関心がない	85	14.5%
関心がある	51	8.7%
無回答	15	2.5%

- 「関心がある・どちらかといえば関心がある」は195件、「関心がない・どちらかといえば関心がない」は191件で、ほぼ同数となっています。
- 最も多い回答が「どちらともいえない」であることから、議会への無関心というより、議会との接点不足や情報不足が背景にある可能性が高いと考えられます。

問 6

あなたは、「議会だより」「議会ホームページ」を
ご覧になっていますか？

議会だより・HP 閲覧状況	件 数	割 合
時々見ている	296	50.4%
見たことがない	113	19.3%
よく見ている	109	18.6%
存在を知らない	54	9.2%
無回答	15	2.5%

- 「閲覧経験あり」が405人（約69%）、「閲覧経験なし」が167人（約29%）で、議会広報は一定程度浸透しています。一方で、約3割は接触していません。
- 特に若年層では、紙媒体離れが進んでいることが想定され、今後はSNSや動画など新たな広報手段の活用も検討課題と考えられます。

問 7

あなたは、議員が町民の代表として、町政に町民の声を反映していると思いますか？

町民の声を反映しているか	件 数	割 合
分からない	191	32.5%
どちらかといえば反映していると思う	161	27.4%
どちらかといえば反映していないと思う	127	21.6%
反映していないと思う	68	11.6%
反映していると思う	25	4.3%
無回答	15	2.6%

- 「どちらかといえば反映していないと思う」（127件）と「反映していないと思う」（68件）を合わせると195件となり、「反映していると思う」（25件）と「どちらかといえば反映していると思う」（161件）の186件をわずかに上回る結果となりました。
- 最も多かった回答は「分からない」の191件であり、全体の約3分の1を占めており、議員の活動実態が十分に伝わっていないため判断できないことが推測されます。

問 8

問7で「どちらかといえば反映していないと思う」「反映していないと思う」理由を教えてください。

反映していない理由	件 数	割 合
町民との対話がない	85	44.3%
町民の要望が実現されていない	43	22.4%
議会で積極的に発言していると思えない	25	13.0%
請願・陳情などへの対応が不十分	17	8.9%
その他	22	11.4%

- 最も多かった回答は「町民との対話がない」（85件）であり、町民と議員との接点やコミュニケーションの不足が大きく影響していることが伺えます。

問 9

あなたは、議会や議員のあり方として何を期待しますか。（複数回答可）

議会・議員に期待する役割	件 数	割 合
町・町民の利益となる政策提言	402	35.0%
町民生活で困っていることの相談相手	244	21.3%
町の行政運営に対する議会のチェック機能	199	17.3%
議会での審議結果に関する町民への報告	174	15.2%
議会の仕組みなどに関する町民への説明	103	9.0%
その他	25	2.2%

- 「町・町民の利益となる政策提言」402件が最も多く、次いで「町民生活で困っていることの相談相手」244件との結果から、行政を監視するだけでなく、地域課題を解決するための提案を行うことを望んでいることが分かります。

問 10

現在の議員定数（12人）についてどう思いますか。

議員定数について	件 数	割 合
分からない	216	36.8%
適正である	189	32.2%
多い	158	26.9%
少ない	18	3.1%
無回答	6	1.0%

- 最も多い回答が「分からない」となりました。これは、住民の皆様が「議員の活動量」「議会の役割」「定数の考え方」を十分把握していないことが分かります。
- 「適正である」と「多い」が拮抗している為、定数削減について明確な住民合意が形成されているわけではない。

問 11

問 10 を選んだ理由を教えてください。(複数回答可)

【多いを選んだ方】

多いを選んだ理由	件 数	割 合
議員活動の実態が見えない	93	29.7%
財政負担を減らすべき	90	28.8%
市貝町の規模からすると多い	87	27.8%
人材確保が難しい	36	11.5%
その他	7	2.2%

- 「議員活動の実態が見えない」が 93 件と最も多く、単純に人数が多いという印象だけでなく、議員一人ひとりの活動内容や成果が十分に伝わっていないことが影響していると推測されます。
- 「財政負担を減らすべき」や「市貝町の規模からすると多い」の回答も多数を占めており、行政運営の効率性や人口規模との均衡を重視する考え方も一定程度示されました。

【適正である・少ないを選んだ方】

適正・少ないの理由	件 数	割 合
多様な意見を反映するためには必要	170	73.3%
議員数が多い方が議論が活発化する	43	18.5%
議員一人あたりの負担が多い	13	5.6%
その他	6	2.6%

- 「多様な意見を反映するためには必要」が 170 件と最も多く、様々な立場や地域の声を市政に届ける役割が期待されていることが分かります。
- 「議員数が多い方が議論が活発化する」が 43 件であったことから、議会内での多角的な議論や意思決定の質の向上につながると考えている方も少なくありません。

問 12

定数を見直す際に重視すべき点は何ですか。
(複数回答可)

定数の見直しで重視すべき点	件 数	割 合
財政状況	280	23.5%
人口規模	261	21.9%
地域の多様な意見の反映	202	17.0%
議員一人あたりの活動量	199	16.7%
議員のなり手の状況	118	9.9%
他自治体との比較	109	9.2%
その他	22	1.8%

- 最も重視しているのは、市貝町の財政・人口規模や実情に見合った適切な人数であり、単純な増減ではなく、地域の実態に即した判断が必要である。
- 「地域の多様な意見の反映」も一定数あり、議会が町民の多様な意見を適切に町政へ反映できる体制を望んでいることが分かります。

問 13

令和5年4月の市貝町議会議員選挙は無投票となりました。議員のなり手不足は何が原因だと思いますか。(複数回答可)

議員のなり手不足原因	件 数	割 合
議員の活動内容が分からない	278	24.0%
政治に関心がない	277	23.9%
議員と仕事の両立ができない	254	22.0%
選挙活動へのハードルの高さ	230	19.9%
議員報酬が低い	92	8.0%
その他	26	2.2%

- 「報酬の低さ」よりも「議員活動が見えないこと」が大きな要因である。
- 「議員が何をしているか分からない」「議員になるイメージが持てない」ことが、なり手不足につながっている。
- 報酬改善だけでは、根本解決にならない。

問 14

議員のなり手不足問題を解消するためには、どうしたら良いと思いますか。(複数回答可)

なり手不足解消策	件 数	割 合
町政への関心を高める	314	25.5%
議会の役割や活動を町民に広く知らせる	283	23.0%
女性や子育て世代が参加しやすい環境づくり	227	18.5%
議員が町民との対話を積極的に行う	169	13.7%
議員報酬を高くする	110	8.9%
地域から議員候補者を擁立する	102	8.3%
その他	25	2.1%

- 「町政への関心を高める」が最も多く、次いで「議会の役割や活動を町民に広く知らせる」となっており、求められているのは「議会を知ってもらうこと」と考えられます。
- 報酬増額よりも「情報発信」「対話機会」「主権者教育」が優先されることが分かります。

問 15

女性や子育て世代の方が議員になるためには何が必要だと思いますか。(複数回答可)

女性・子育て世代の参画	件 数	割 合
家族の理解	416	31.9%
職場の理解	350	26.9%
育児・介護休暇の充実	296	22.7%
議員報酬の増額	117	9.0%
休日・夜間議会の導入	97	7.4%
その他	27	2.1%

- 女性や子育て世代は「議員になれる環境が整っていない」と考えられます。
- 家庭や仕事との両立支援も含めて、議会改革を検討する必要があります。

問 16

あなたが議員になるとしたら、議員報酬は月額どれくらい必要ですか。

議員報酬額	件 数	割 合
25～30 万円未満	131	25.3%
20～25 万円未満	127	24.5%
35 万円以上	101	19.5%
30～35 万円未満	100	19.3%
20 万円未満	59	11.4%

●月額 25 万円～30 万円程度を議員報酬の目安として考えていることが分かります。

4. 市貝町議会の方向性

今回のアンケート調査では、議員のなり手不足の背景として、「政治への関心の低下」や「議員活動が分かりにくいこと」が大きな要因として挙げられました。また、解消策としては、議員報酬の増額よりも、議会活動の情報発信や町民との対話機会の充実を求める意見が多く見られました。

これらの結果を踏まえ、市貝町議会において次のような改革を実施していきたいと考えてます。

(1) 議員活動の「見える化」の推進

アンケートでは、「議員活動の内容が分からない」がなり手不足の主な原因として挙げられました。

議会としては、本会議や委員会の審議結果だけでなく、「議員がどのような調査研究を行っているのか」「どのような課題意識を持って活動しているのか」「町民からどのような相談を受けているのか」などについて、積極的に発信する必要があると考え、議会だよりやホームページに加え、SNS や動画など多様な媒体を活用し、議員活動をより身近に感じてもらう取組を今後検討していきます。

(2) 広報広聴機能の強化

議会への関心については「どちらともいえない」と回答した方が最も多かった。これは、議会との接点不足によるものと考え、「議会報告会」「意見交換会」などを通じて、住民との対話機会を拡充していきます。

(3) 政策提言機能の充実

住民が議会に最も期待している役割は、「町・町民の利益となる政策提言」でありました。議会には行政の監視機能だけでなく、地域課題の解決に向けた政策形成機能の強化が求められていることから、委員会活動や議員研修を充実させるとともに、先進地視察や町民意見の集約を通じて、政策提言型の議会運営を目指していきます。

(4) 多様な人材が参画しやすい議会づくり

女性や子育て世代が議員になるためには、「家族の理解」「職場の理解」「育児・介護との両立支援」が必要との回答が多かったことから、「女性や若者が参加しやすい議会環境の整備」「多様な職業の人材が立候補しやすい環境づくり」「議会活動と仕事との両立に配慮した議会運営」を心がけていきます。

5. おわりに

今回のアンケート結果から、当議会に求められているのは、単なる制度改正や報酬改善ではなく、「開かれた議会」として町民との距離を縮める取組であることが明らかになりました。

今後は、議員活動の見える化、広報広聴機能の強化、政策提言機能の充実、多様な人材が参画しやすい環境整備を進めることで、議会への理解と信頼を高め、将来の議員の担い手確保につなげていきたいと思います。